

製本のススメ

Vol. 164

政府イチオシ！の「働き方改革」関連イベントに発表者として参加してきました。何かものすごいことをしているような扱いに、若干恐縮しています。そもそも、ダラダラ動かないだけの話です「ゆとり」の意味を取り違えると、道を間違えます。もう一度考えてみましょう「そもそも・・・」ここからですね。

今回は **型** の話し

抜型や金型の話ではありません。型とは「手本」「パターン」「形式」などを使います。空手の段取りなどは美しいですし、迫力もありますね。どんな物にも型があり、作業の手順や身のこなしも型にはまると無駄がなく、事故も起きずらいのです。

本にも型があります 特に上製本や和本には昔ながらの型があり、それに沿うと美しく堅牢な本が出来上がります。並製本(無線トジ)にも有りますが比較的決まりきった物はありません。しかし基本は揺らぎませんね。縦書きは右開き横書きは左開きです。見返し付きの場合には遊び紙は別途付きません。さらに見返しは前後に付きます。基本的な【型】ですね。その他にも様々な決まり事があります。和綴じ本ならば、タイトルの位置までも指定が発生します。

これらを逸脱する場合には、ぜひとも指示書等に明記してください。あえて変わった本を作る事になりますので、加工側も客先の意図を組まねばなりません。

印刷がそうであるように 製本も均一に揃った製品を作り出す必要があります。そのために同一条件の刷り本でなくてはなりません。まずは針・クワエがしっかりと同じであることが前提です。最近はおんデマンド機の性能もかなり良くなってきましたが、機種によってはまだバラツキが出るものもあるようですので、印刷機の特徴をよく理解し、改善できるところは見直してみましよう。刷ったまま持ち込んでも、加工できない場合がこのところ多く発生しているようです。



Tea break

「ボヘミアン・ラブソディー」人気の映画タイトルですが、そういえばボヘミアンって、ナニ？と調べてみました。ボヘミアン(Bohemian)とは、自由奔放な生活をする人・放浪者を意味するそうです。ラブソディー(rhapsody)は狂想曲で一定の形式がなく自由で機知に富む曲です。フレディはまさに型破りの人だったわけですね。

弊社 HP は www.isekiseihon.com

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本